

# 予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：民生費 項：児童福祉費 目：子ども相談センター費

## 事業名 委託一時保護付添業務委託費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 子ども・女性局 子ども家庭課 児童養護第一係

電話番号：058-272-1111(内 2637)

E-mail：[c11217@pref.gifu.lg.jp](mailto:c11217@pref.gifu.lg.jp)

1 事業費 270 千円 (前年度予算額：1,084 千円)

### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	1,084	542	0	0	0	0	0	0	542
要求額	270	135	0	0	0	0	0	0	135
決定額	270	135	0	0	0	0	0	0	135

## 2 要求内容

### (1) 要求の趣旨 (現状と課題)

・児童虐待対応件数の増加により、一時保護の件数及び延日数が増加傾向にある。通常は、児童養護施設等へ委託一時保護を行うが、障害を持つ子どもや治療の必要がある子どもは、医療機関等へ委託一時保護が必要となる。

・医療機関へ委託一時保護を行う場合、子相職員の付添を求められることがあるが、現行の職員体制では、十分な付添体制を整備することが困難な状況である。

・仮に、子相職員が付き添いを行った場合、過度の負担を強いることになり、他の虐待対応に支障をきたす恐れがある。

#### 【委託一時保護件数 (延日数)】

平成 28 年度 3,912 日

平成 29 年度 5,103 日

平成 30 年度 5,124 日

令和 元年度 9,121 日

## (2) 事業内容

・医療機関への委託一時保護が必要な児童に付き添い、保護者や子相職員の代わりに食事の介助等、身の回りの世話をを行う。

## (3) 県負担・補助率の考え方

国 1/2 県 1/2 (児童虐待・DV対策等総合支援事業費補助金)

## (4) 類似事業の有無

無

### 3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	270	
合計	270	

#### 決定額の考え方

「途中経過」または「予算案の決定（知事査定後）」  
の公開の際に記載します。

### 4 参考事項

#### (1) 各種計画での位置づけ

第3次岐阜県少子化対策基本計画

第4章 4子どもの健やかな成長支援

(2) 配慮を要する子どもや家庭への支援

#### (2) 国・他県の状況

児童虐待・DV対策等総合支援事業費補助金の対象事業となっている。  
名古屋市は、すでに医療機関への委託一時保護児への付き添いを実施している。

愛知県は、令和元年度から同事業の実施を予定している。

#### (3) 後年度の財政負担

実績により、追加が必要となる可能性がある。

#### (4) 事業主体及びその妥当性

事業主体：県

# 事業評価調書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか  
医療機関へ一時保護をする際に、付き添い職員を配置し、児童が医療機関で安心して生活ができる環境を整える。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移	現在値 (前々年度末時点)	目標	達成率

### ○指標を設定することができない場合の理由

医療機関への委託一時保護は、突発的に起こる事案であり、いつ起こるか予測ができないため。

### （前年度の取組）

- ・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）  
令和元年度 40日

### （前年度の成果）

- ・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果  
令和元年度 40日

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い      △：必要性が低い</li> </ul>	
(評価) ○	安心して入院（委託一時保護）できるような環境を整えることは、児童にとって必要である。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない</li> </ul>	
(評価) ○	令和元年度 40日（東濃子相 藤田医科大学病院）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている      △：向上の余地がある</li> </ul>	
(評価) —	—

### (今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 医療機関への一時保護委託は急に発生するため、常に対応してもらえる体制を整え、それを維持する必要がある。</li> </ul>
--

### (次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 実績に応じ、体制等を見直す必要がある。</li> </ul>
---

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課 組み合わせる理由や期待する効果 など	【○○課】
--	-------